

2017 年 1 月 13 日

2017 年 SUBARU モータースポーツ活動計画について

富士重工業と同社のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社*1 は、2017 年の SUBARU モータースポーツ活動についての概要を発表しました。

■ニュルブルクリンク 24 時間耐久レース

2008 年から 10 年連続の出場となる第 45 回ニュルブルクリンク 24 時間耐久レース(ドイツ、5 月 25 日～28 日)に、WRX STI で出場。SP3T*2 クラスで 3 年連続 5 度目のクラス優勝を目指します。

2017 年の参戦車両は、加速性能とトップスピードの向上を図るためにエンジン出力の向上、パドルシフトの採用、トランスミッションの改良を施しており、同時にシャシージオメトリーの最適化、剛性バランスの改善、車体の軽量化、慣性モーメントの低減、フロントダウンフォースの向上などによりコーナーリングスピードも上げ、量産車の良さを活かしながら更に「速く」かつ「意のままに操る」開発と改良を施しています。

チーム監督は、昨年に引き続き STI の菅谷重雄が務めます。

ドライバーは、昨年までの 2 連覇のメンバーである、カルロ・ヴァンダム(オランダ)、マルセル・ラッセー(ドイツ)、ティム・シュリック(ドイツ)、山内英輝(日本)の 4 名体制で臨みます。

■SUPER GT シリーズ

日本国内最高峰のモータースポーツカテゴリーである SUPER GT の GT300 クラスに、昨年に引き続き SUBARU BRZ GT300 にて参戦します。

2017 年の参戦車両は、水平対向ボクサーエンジンの熱効率の改善、軽量化、空力性能の向上、慣性モーメントの改良などを施しました。

チーム総監督は STI の辰己英治が務め、チーム運営は、「R&D SPORT」(代表:本島伸次、神奈川県平塚市)が担当します。ドライバーは、井口卓人選手と山内英輝選手を継続起用します。

■グローバルラリークロス選手権

アメリカで人気のグローバルラリークロス選手権に参戦している SUBARU ラリーチーム USA に技術支援を行います。サーキットレース、オフロードレース、ラリーの要素を併せ持つ、この競技においてもニュルブルクリンクや SUPER GT で培ったノウハウをつぎ込み、スバルの水平対向エンジン、シンメトリカル AWD の優位性を実証していきます。2017 年シーズンは、信頼性向上に重点を置いたエンジン開発、車体の軽量化、剛性の強化、慣性モーメントの最適化などの技術支援を行っていきます。

*1: スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平川良夫、東京都三鷹市、略称:STI)

*2: 排気量 2 リットル以下のターボ車のクラス



SUBARU WRX STI 2016 モデル



SUBARU BRZ GT300 2016 モデル